

(2) 重要無形民俗文化財

No.	名称	員数	概要	所在地	保護団体	指定(認定)年月日	最寄り駅(備考)
1	鷺宮催馬楽神楽		1月1日、2月14日、4月10日、7月31日、10月10日、12月初西日に鷺宮神社神楽殿で奉奏。関東の江戸神楽の源流とされ、催馬楽を神楽歌に取り入れる点が特徴的。	久喜市鷺宮	催馬楽神楽保存会	昭51・5・4	東武伊勢崎線鷺宮駅
2	秩父祭の屋台行事と神楽		12月3日、秩父神社例大祭で行われる。4基の屋台・2基の笠鉾の曳行と屋台ばやしの演奏、屋台上で上演される歌舞伎芝居、神楽殿で奉納される神楽等の行事。	秩父市	秩父祭保存委員会	昭54・2・3	秩父鉄道秩父駅、御花畑駅、西武秩父線西武秩父駅
3	猪俣の百八燈		8月15日に行われる行事。6歳から18歳までの青少年が、堂前山の尾根に百八基の塚を築き、火を灯す。地元では、猪俣小兵六範綱の霊を慰めるものと伝えられている。	児玉郡美里町猪俣	猪俣百八燈保存会	昭62・1・8	J R八高線用土駅
4	川越氷川祭の山車行事		10月第三土・日曜の川越氷川祭の付け祭りとして行われる山車行事。慶安元年に川越城主の松平信綱が江戸の天下祭りをならって興したといわれる。	川越市	川越氷川祭の山車行事保存会	平17・2・21	J R川越線東武東上線川越駅、西武新宿線本川越駅
5	岩槻の古式土俵入り		子どもの健やかな成長を祈願し行われる、子ども達による様式的な土俵入り。笹久保の篠岡八幡大神社と釣上の神明社でそれぞれ秋に奉納される。	さいたま市岩槻区	釣上の子ども相撲土俵入り保存会、笹久保の古式子ども土俵入り保存会	平17・2・21	東武野田線岩槻駅
6	玉敷神社神楽		2月1日、5月5日、7月15日、12月1日に公開される、一社相伝の神楽。多くが様式的な舞であるが、一部に演劇的な江戸里神楽が含まれている。	加須市騎西	玉敷神社神楽保存会	平20・3・13	東武伊勢崎線加須駅
7	鴻巣の赤物製作技術		赤物と呼ばれる玩具を製作する技術。赤物とは、桐のおが屑と正麩糊を練った生地を型に入れて成形し、赤く塗った獅子や人形のことで、子どもの疱瘡除けとして広く流通したものの。	鴻巣市	鴻巣の赤物保存会	平23・3・9	J R高崎線鴻巣駅
8	秩父吉田の龍勢		棕神社の秋季例大祭に、龍勢と呼ばれる打ち上げ式の煙火を製造し、五穀豊穡や天下泰平等を祈願して奉納する行事。	秩父市下吉田	吉田龍勢保存会	平30・3・8	秩父鉄道皆野駅